

5				6				7				8			
△の数		訂正記事		担当検図		年月日		△の数		訂正記事		担当検図		年月日	
△								△							
△								△							
△								△							

▲ 結線方法 HRM-101, 101S (1) ケーブル切断 (Fig (1) 参照) セミリジットケーブルを切断に必要とする長さℓに2.3mm加えた値で切断する。 注1：切断面は垂直になる様注意の事。 注2：寸法ℓは結線完了後のケーブル外部導体の長さとする。															
(2) ケーブルをシェルスにハンダ付け固定する。(HRM-T-6を使用) i) Fig (2) に於て①はバイスにて固定する。 ii) 図の如くPシェルスケーブルに通し③を締める事によりケーブルを固定する。 iii) 次に②を締める事によりケーブル先端がシェルス端より2.3mm飛出すようにする。 iv) シェルスをケーブルにハンダにて固定する。 注1：この際使用するハンダゴテは80W程度のものが望ましい。 注2：ハンダは円周上に均一に付ける事。 注3：ハンダ付の際シェルス先端が②より離れぬ様注意の事。 注4：③のネジはケーブルがハンダの熱応力により移動せぬ様きつく締め付けること。 注5：ケーブルのハンダ付部分はハンダが付きやすい様あらかじめサンドペーパー等でみがいておくこと。															
(3) ケーブルの外部導体をシェルス先端の位置で糸ノコにて切断し切りはなす。(Fig(3)参照) 注1：ケーブル切断時に於てシェルス先端を傷つけぬ様、又シェルス先端とケーブル切断面が同一面になる様注意の事。 注2：工具に設けた巾0.4のスリ割は糸ノコがケーブルの中心導体と外部導体の間で止る様に出来ている。切断の際工具を傷つけるとスリ割の深さが変化し従ってケーブル中心導体を傷つける事があるから注意を要する。															

Fig (1)															
Fig (2)															
Fig (3)															

Fig (4)															
Fig (5)															
Fig (6)															

Fig (7)															
Fig (8)															

--